

eitoeiko より江川純太展「正解の裏の裏の横」のご案内をいたします。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。eitoeiko では 2015 年 9 月 26 日より 10 月 24 日まで、江川純太展「正解の裏の裏の横」を開催いたします。

瑞々しい色彩の油彩画による抽象表現を追求する江川純太（1978 年神奈川県鎌倉市生まれ）。作家自身の記憶がどこまで正しいのか。そもそも間違っているのか。記憶の中の出来事が本当にあったことなのか。実際には存在しないことなのか。記憶という存在をあやふやなものと見なしている江川純太は、現在という瞬間における選択と、選択したことによって生じる結果にこだわります。

このたびの個展では製版されていないシルクスクリーンを用いた油彩画を発表いたします。本来シルクスクリーンはインクがメッシュを通過しない部分を製版してイメージを複製する技法です。製版せず、ただメッシュを使用するとインクが全てのメッシュの穴を通過できるため、シルクスクリーンとしては失敗とみなされます。しかし版としての役割、複製という機能を奪うことで、逆にイメージは解放され、色、インクである油絵具の物質性、伸ばし方や押し付け方などの行為に作家は新しい価値を見出しました。完成した作品はイメージの崩壊と再生、曖昧な記憶と記録の繰り返しであると作家は考えます。無駄を繰り返すことで、違う価値が生まれる。そこで確かなものは、やはり絵を描く瞬間の選択なのだ、と江川は制作の原点に立ち戻ります。



正解の裏の裏の横

キャンバスに油彩 91x91cm 2015 年

ジョージ・オーウェルの『1984』に描かれる二重思考のように、江川は記憶や記録を矛盾を孕んだ危ういものと捉え、選択と結果に事実の存在を感じているのです。

「我々はきっと、変わっていかねばならない。今までの常識ではなく、新しく考え、新しい価値、新しい人間のあり方、新しい世界を模索していくべきだ。」

江川純太はそうに考えます。新作ペインティングによる充実した個展をこの機会にぜひご高覧ください。また会期終了後の 11 月 7 日～12 月 6 日には、藤沢市に新しく開館する藤沢市アートスペース「FAS」にて、オープニング展覧会「From now on!! 藤沢発、アートのこれから」の第 2 期展「Tri-Angle - 作品との対話」に参加いたします。

皆様のご来廊をお待ちしております。

作家略歴

江川純太（えがわ・じゅんた）
1978 年 神奈川県鎌倉市生まれ
2003 年 多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業

主な展覧会

火星の記憶 eitoeiko 2010/OVERTONE II 神奈川県民ホールギャラリー 2010/正

解も不正解も消えた。それが答えなのか？ eitoeiko 2011/さっき見た新しい世界を忘れて、また見る瞬間の eitoeiko 2012/トーキョーワンダーウォール都庁 2013/VOCA展 上野の森美術館 2013/TWS-Emerging あなたは見ている。僕は何処か遠くのことを考えていた。 TWS本郷 2013/選択が迫る。後ろはみえない。僕は掴んだ手を眺める。 eitoeiko 2013/Licketh The Rainbow JAUS ロサンゼルス 2013/アーティスト・ラボ「つくられる」の実験 川口市アートギャラリー・アトリア 埼玉 2014/全ては奥歯で砕かれる。 eitoeiko 2014/あいちアートプログラム アーツ・チャレンジ 愛知芸術文化センター 2015

主な受賞

シエル美術賞入選 2008/トーキョーワンダーウォール入選 2010、2011/トーキョーワンダーウォール賞 2012/第25回ホルベインスカラシップ 2012



吠えても救われない。噛み付け。

キャンバスに油彩 116.7x116.7cm 2015



全ての責任は、あなたにある。

キャンバスに油彩 91x91cm 2015年

展覧会情報

作家名 江川純太

展覧会名 正解の裏の裏の横

会期 2015年9月26日(土)~10月24日(土)

オープニングパーティー 9月26日(土)18時~20時

会場 eitoeiko

住所 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

電話 03-6873-3830

ウェブサイト <http://eitoeiko.com>

開廊時間 12:00~19:00 日月祝休廊

連絡先 ei@eitoeiko.com 担当・癸生川 (きぶかわ)